

熊本地震後、全国的に災害弱者と認識されている外国人に対する教育・訓練等、地域の取り組みが注目されている。

しかしながら、教育・訓練は全ての外国人が参加できるわけではなく、また参加をしたとしても言語の壁を乗り越えるのは容易ではない。

A 防災士会と外国人住民の意見交換会

B 外国人のための
すぐに役立つ体験型防災セミナー

C 多文化防災公開セミナー

D 在住外国人のための生活ガイド



A 防災士会と外国人住民の意見交換会



- ・ 平成30年9月10日 10:00～12:00 於:佐賀県国際交流プラザ研修室
- ・ グループディスカッション「避難所運営の外国人への配慮について」
- ・ 外国人住民 22名が参加（佐賀県防災士会10名、佐賀県消防防災課1名、佐賀県国際課1名、外国人住民6名、協会職員4名）



B 外国人のためのすぐに役立つ体験型防災セミナー



- 平成30年9月29日 9:00～12:30 於:佐賀県消防学校
- 防災講義、通報訓練、消火体験、暴風雨体験、煙体験、グループディスカッション
- 外国人住民 29名が参加
(中国、ベトナム、インド、台湾、ネパール、スリランカ、タイ)



C 多文化防災公開セミナー



- 平成30年10月27日 13:00～16:30 於:佐賀商工ビル7階
- 防災講話(佐賀市総務部消防防災課)、震災体験談(熊本大学留学生団体KEEP)、ワークショップ
- 計91名が参加(佐賀大学生日本人15名、留学生53名、技能実習生2名、高校生2名、佐賀県警察本部2名、日本赤十字社佐賀県支部1名、その他)



D 在住外国人のための生活ガイド

- 災害時だけでなく、火事や交通事故、病気など日常生活で困ったときに役立つ情報を記載
- データ版は佐賀県国際交流協会のウェブサイトからダウンロード可能 <https://www.spira.or.jp/>
- 10言語で作成:日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、ネパール語、シンハラ語、タイ語

